

《 平成29年 6月事例 》

1	発生日	6月9日	発生場所	佐賀市
---	-----	------	------	-----

6月9日（金）正午ごろ、佐賀市内在住の被保険者男性宅に「平成23年～平成28年分として25,000円ほどの還付金がある。3月31日までに申請書を出していただくように通知していたが、まだ申請されていないため連絡した。口座はどこ金融機関か？」と電話があり、〇〇銀行の通帳を持っていると答えたところ、「〇〇銀行から電話があるから対応してください。」と言われ、電話は終了した。

しばらくして〇〇銀行の職員を名乗るものから電話があり、「ATMに行って手続きをしてください。」と言われたため、「ATMでなく支店の窓口で手続きをする。」と伝えたところ、電話が切れた。

その後、被保険者が広域連合へ確認の電話をされたことで本事案が発覚した。

2	発生日	6月15日	発生場所	鹿島市
---	-----	-------	------	-----

6月15日（木）、鹿島市内在住の被保険者宅に市役所の保険健康課職員を装った「イノウエ」と名乗る男性より「健康保険料の払戻しの通知を出した。5月末が締め切りだったが、申請がなかったので電話した。23,100円が戻ってくる。〇〇銀行から電話があるので携帯番号を教えてほしい。」という内容の電話があった。

その後、携帯電話に〇〇銀行の職員を装った者から非通知で電話があり、口座に振り込むのでATMに行くように言われた。被保険者が「〇〇銀行は△△支店か市役所しか行かない。」と言うと、「そこのATMは古いので近くのスーパーのATMに行ってください。」と言われた。

被保険者が不審に思い、市役所に電話で相談されたことにより本事案が発覚した。